

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	水田農業構造改革対策事業	会計名称	一般会計			担当課	農業振興課						
		予算科目	6 款 1 項 4 目	事業番号	2510	所属長名	窪田春樹						
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）			担当責任者名			中塚正洋						
法令根拠等	伊予市ひめの凜生産拡大支援事業実施要領及び事業費補助金交付要綱 令和2年度ひめの凜生産拡大支援事業実施要領及び事業費補助金交付要綱			実施期間	【開始】 【終了】	令和／平成 17 年度							
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 魅力ある農業の振興					令和 年度(予定) ■ 設定なし							
総合計画における本事業の役割	魅力ある農業の振興のための水田農業対策												
事業の対象	水田耕作農業者			事業の目的	暑さに強く食味に優れる有望な品種である県育成米「ひめの凜」の普及・定着のため、早期のブランド確立を図ることを目的とする。								
事業の内容(整備内容)	愛媛県オリジナルの良食味米である県育成米「ひめの凜」の種子導入に支援することにより生産拡大を図る。			昨年度の課題に対する具体的な改善策									

事業活動の内容・成果 (D0)

事業費及び財源内訳(千円)							事業活動の実績(活動指標)						
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績	
財源内訳	直接事業費	145	142	137	0	0	231	県育成米(ひめの凜)作付面積	ha	2.2	20.49	20.49	
	国庫支出金		0	0	0	0	0						
	県支出金	18	0	137	0	0	0						
	地方債		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0						
	一般財源	127	142	0	0	0	231						
	職員の人工(にんく)数	0.10	0.10				0.36						
1人工当たりの人工費単価		7,812	7,841				7,841						
※直接事業費+人件費		926	926				3,054						
主な実施主体		JAえひめ中央	実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)	補助金									
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)							4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年間の合計	
成果指標	指標	当該年度作付け計画面積/当該年度作付け実績面積×100				単位	⇒	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標	毎年度
						%		目標	100	100	100	100	
	指標設定の考え方	当該年度の作付目標面積に対して実績と比較することで事業効果を測る。				実績		100	100				
	指標で表せない効果	県育成米の普及・定着のため生産拡大への取り組みを支援することで、持続可能な水田農業経営の推進に繋がる。											

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況（今年度の途中経過）		近年の米生産は過酷な高温条件下での栽培が続いている。夏の暑さに強く、食味に優れる県育成米「ひめの凜」の高品質で安全な育苗の導入を支援し生産拡大を図る。									
事務事業の評価	自己判定（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 3 概ね、施策の目的に沿った事業である。 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点	県・JAの推進により、生産農家数、生産面積ともに昨年度から大きく増加する結果に繋がった。		
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 3 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 3 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	4						
		有効性	事業の効果	5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 3 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の苦労した点・課題	生産拡大の推進に伴い集荷先等の体制強化の検討も必要と思われる。		
			成果向上の可能性	5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 3 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	4						
			施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 3 施策推進に向け、効果を認めることができる。 2 1 施策推進につながっていない。	4						
	一次判定（所属長）	効率性	手段の最適性	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 3 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 2 1 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由)		
			コスト効率	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 3 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 2 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	3						
			市民（受益者）負担の適正	5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 4 3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	4				本事業は、新たな米政策に対応すべく①競争力のある県産米の生産・販売体制の確立・②水田フル活用の高度化③持続的な水田農業を支える基盤の確保に向けた取組を推進する事業で、産地が主体となって今後の振興策を構築する有意義な事業で、あるため、事業継続と判断する。		
		効率性	目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 3 概ね、施策の目的に沿った事業である。 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所属長の課題認識	本事業は、水田農業における全ての関係者が一体となり、創意工夫を図りながら地域あつた水田農業の在り方を創り出し、戦略的に展開・実践していく取組に対する支援である。 コロナ禍もあり主食用米の消費が大きく減少する中で、生産者所得を向上させるには、需要に応じた生産を行うべく、裸麦（一部小麦への転換）・ひめの凜を推進するなどして、さらなる水田のフル活用を図る必要がある。		
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 3 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4						
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 3 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	3						

施 策 を 踏 ま え た 判 断	二 次 判 定	<input type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 <input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 <input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		 <p>指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。</p>

行政評価委員会の答申	外 部 評 価	答申の内容
------------	------------------	-------

今後の方針性（ACTION）

の経 最 終 者 判 会 議	事業の方向性	コメント欄
		<input type="checkbox"/> さらに重点化する。
		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する。
		<input type="checkbox"/> 見直しの上、継続する。
		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。
		<input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。